

様式第2号（第5条関係）

平成27年11月21日

出張報告書

栗山町議会議員 鵜川和彦 様

栗山町議会議員 栗山 雅世 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成27年11月11日 ~ 平成27年11月21日まで
- 2 旅 行 先 赤井川村
- 3 目 的 北海道女性議員協議会
- 4 関係書類 別紙のとおり



¥15,470

日 時	平成29年 11月 11日 18:00 ~ 11月12日 11:00
視 察 先	赤井川村
調査事項	全道女性議員協議会
対 応 者	
1. 視察目的 2. 視察内容 ① 背景 ② 特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	別添のとおり

第65回北海道女性議員協議会参加報告

全道各地から超党派の女性議員39人が開催地赤井川村（人口1,299人）に集う。赤井川村赤松村長の来賓の挨拶は、人口1000人を切らないような具体的な政策（10年間で1億円支出し、1戸当たり300万の住宅助成金30戸建設）の紹介もされた。各議会から出された議案のうち、学校給食の無償化を求める要望では、赤井川村・陸別町は完全無償化、京極町は第二子以降無料、様似町は学校給食制度化されていない・本町は値上げされたと報告すると会場から驚きの声が上がった。他にも各議会の取り組み経験等の議論を重ね、1部修正し全会一致で決めた。①学校給食の完全実施と無償化を求める②全ての障害者が公共交通機関の運賃割引の適用対象となるよう具体的な対策を求める③国民健康保険の国庫負担減額調整措置の全面的廃止と子どもに係る均等割保険料(税)の軽減措置を求める④診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める⑤エキノコックス駆除対策の推進を求める

以上5件の議案は国及び道へ要望する。

研修会は「いのち（生命）とくらし（生活）を守る備災」と題して、北海道防災教育アドバイザー 太田 晴美氏の講演

国内外の被災地を訪れている経験から「女性がリーダーになっている避難所は比較的衛生状態が良い」と話し始め、地下鉄サリン事件の被害者が搬送された聖路加病院での日野原先生を始め医療スタッフのキビキビとした対応の良い貴重な映像を視聴した。大学の授業のようにいくつかの質問も出され答えていく手法で楽しく学べた。「北海道は災害が多いか少ないか」との問いでは参加者全員少ないと答えたが、年代ごとに災害の多さを示され認識を新たにした。災害が起きたとき想像（その地域・人の生活をどのくらい思うことができるか）と創造（限られた資源をどのように活用するか）を働かせる。発災が明確でない「いつもの雪との違い」どこから災害モードに入るか、対応が必要と考えるか、「すぐに復旧するはず」と考えると対応が遅れる対応の難しさも指摘。災害時の高齢者の死亡の割合、災害関連死、被災者の心理状態の変化。意外に感じたのは救援者（達成感が得られず無力感、罪悪感、使命感と現実のギャップ）は隠れた被災者との話。最後に災害看護人材育成・人材不足の問題点は今後政策に結びつけたいと感じた